

次年度への引継事項

【運営面での問題点・引継ぎ事項】	
問題点 1	DX セミナーで退屈を感じた方が多かったこと
引継ぎ 1	宮崎県産業政策課様に 3 月に 1 回、株式会社デンサン様に 7 月と 9 月に 2 回セミナーを行い、合計 3 回の DX セミナーを開催しました。3 回のセミナー中は全て一方通行のお話の形だったので視聴する側は特に難しい部分については退屈を感じた場面もあったのでワークショップ型も取り入れて参加してもらうことも必要だと感じました。
問題点 2	会場（市民プラザ）について
引継ぎ 2	全ての会場を市民プラザで開催しました。会場については 2 か月前に予約を開始があり、予約して 1 週間程度以内に会場費のみ支払わないといけません。リハーサルを行うことも有料ですし、機材についても別途事業終了後に支払いが発生します。宮崎青年会議所は宮崎市民活動団体ですので通常より安く抑えることができます。
問題点 3	DX 補助金についての話が少なかったこと
引継ぎ 3	今年度 7 月から宮崎県による産業 DX サポートセンターが開設されました。今後もより多くの県内企業に DX を推進していくことから DX 導入による補助金制度もあるので導入意欲のあるメンバーの会社は宮崎県 HP を注視したほうが良いです。
問題点 4	DX セミナー内容が難しく感じられたこと
引継ぎ 4	今回の講師をお願いした方はエンジニア出身の目線でしたので難しい内容に感じられた部分もありました。講師の選定で例えば営業職の方の説明であればもう少し初心者目線でお話頂いた可能性もあったので、講師選定の際にはバックボーンも意識したうえで検討すると良いと思いました。
問題点 5	第 1 回に比べ第 2 回の参加者が減ってしまったこと
引継ぎ 5	第 1 回セミナーを行って、DX についての興味が沸かなかったことが一番の要因だと思うが、概論説明だけでなく実際の商品を使って実演してもらった方がもう少し興味を持たせられたのではないかと思います。1 回目と 2 回目の連動性を持たせることで 1 回目よりも 2 回目の方が重要性を感じてもらうことも必要だったと思います。
問題点 6	宮崎県 DX 相談サポートを利用して青年会議所メンバーの会社でも数社 DX を取り入れる動きがあること
引継ぎ 6	それぞれ 2 回の DX セミナー終了後に合計 8 社の無料相談を行いましたはその半数の会社で産業 DX サポートセンターが伴走支援を行い DX を取り入れる動きとなっています。今年度からスタートした事業ですが、次年度も DX 体験のイベントなどを定期的に行っていくとのことですその情報を伝えていけば興味を持ち始めるメンバーも多いのではないかと思います。
【予算面の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	セミナー費用について
引継ぎ 1	宮崎県自治体については基本無料で講演をしていただきまして今回出前講座内容を一部変更してお話していただきました。また株式会社デンサン様も無償にてセミナーをしていただきま

	した。株式会社デンサン様は県の産業DXサポートセンター相談員として数名出向されているのでその広報もあったので無償で行っていただきました。
問題点 2	会場費について
引継ぎ 2	上記でも記載している通り宮崎青年会議所は市民活動団であるため宮崎市の施設では安く場所を提供していただけるので予算面厳しい場合は検討すると良いと思います。